

## 会社訪問

### 銲金工場から縫製工場に転換 アパレル販売コンサルも展開

株式会社サラ

苦戦が続く縫製業界でひとときわ輝きを見せるのが(株)サラ(福岡市)だ。銲金工場から縫製工場へと転換した経緯などを同社の迫田英敏社長に聞いた。

#### —銲金工場から転換した後も苦労が続いたと聞きました。

「弊社の前身は、父が経営していた空調機器の銲金工場です。当初は会社を引き継がずに独立するつもりでしたので、定款の作成方法などを勉強して、自ら会社を設立しました。そんな折、お世話になっていた税理士などから、会社を継続させるメリットなどを教授いただき、この会社を引き継ぐことにしました。2003年のことです」

「アパレル関係での事業を考えていましたので、まずは小型犬などのペット服製造に乗り出しました。当時はペットブームで異業種からの参入も多かったのですが、まだOEM(相手先ブランドによる生産)を手がける企業が少なく、受注は順調に増えていきました」

「同時にペットフード宅配事業にも取り組み、オーダーメイドのペット服製造も視野に入れていました。しかし、宅配エリアが分散してしまい赤字が続き、同事業の継続はあきらめました。身をもって、効率性を追求しないとビジネスとして成り立たないことをしっかりと勉強しました」

#### —転機は何でしたか？

「オリジナルブランドの衣料品を出したいと考えていたところ、高い紫外線遮断(UVカット)率を実現した機能性素材の情報を得ました。この素材が弊社の命運を分けましたね。ファッション性を持たせた婦人服を作れば間

違いなく売れる、と判断して調達を即決しました。完成した服は博多大丸(福岡市)のバイヤーの目にとまり、すぐに催事出店が決まりました」

「メディアに取り上げられた効果もあって、博多大丸の催事では新記録となる売り上げを達成できました。複数の百貨店に次々と口座が開設でき、自社ブランド『SARA』が一気に定着するきっかけになりました」

#### —最近ではコンサル事業にも積極的ですね。今後の意気込みなどもお聞かせください。

「弊社は、2年ほど前から衣料品のブランド立ち上げコンサルティングを行っています。主に個人などの小規模事業者が対象ですが、縫製の請け負いははじめ、アパレルに特化したWEBページ制作、販売先のマッチングなども提供可能なサービスです」

「衣料品の縫製は、安価な労働力を求めて中国に流れていましたが、昨今は人件費が高騰しているうえ、次の工場立地として期待される他の東南アジア諸国もインフラ整備が追いついていません。逆に国内では『MADE IN JAPAN』が見直されるなど品質への要求がさらに高まっており、今後は縫製の国内回帰が進むでしょう」

「しかし、技術が海外に流出した国内縫製業界は疲弊し、次世代の経営者が育っていません。弊社では自社工場に加え、こうした縫製工場と提携し、大小さまざまな縫製受注に対応できる仕組みを整えました。弊社は過剰な工場設備や人員を抱えずに固定費を削減できる半面、協力工場は単独では受注できない仕事が得られるので、両社にメリットがある仕組みです」

「自身の失敗を糧に、常に最少人数で最高利益を上げることを目標にしています。協力工場などのネットワークを充実させ、“サラ”に上のステップを目指したいと思います」

## 【企業概要】

商号 株式会社サラ

企業コード 800196671

所在地 福岡市博多区吉塚 8-1-66

代表 迫田 英敏氏

電話 092-621-6909

設立 昭和 51 年 7 月（事業再開 2003  
年 7 月）

資本金 1000 万円

事業内容 衣料品 O E M 受託、婦人服の企  
画・販売など

URL <http://www.sara-fukuoka.co.jp/>